日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加

８月17日、中国北京オリンピック体育センターで、日中両国の友好都市83か所から中学生332人が集まり、卓球交歓大会が開催されました。栃木市からは都賀中３年の大橋悠人君と大類美咲さんが友好都市金華市の中学生と混成チームを組み、熱戦を繰り広げました。この大会は５年ごとに開催され、特に青少年の相互理解と友情の増進の契機となると、両国各界から注目されています。

●大橋君のコメント●

僕たちのチームの金華市の男の子がフルセットの接戦で勝ってくれたときは、感動しすぎて思わず泣いてしまいました。

●大類さんのコメント●

いろいろな人が「友好を第一に」と言っていたので、金華市の二人と仲良くなれるように、身振り手振りや簡単な中国語で一生懸命話して二人に話が伝わったときはすごく嬉しかったです。

夏休み集中日本語教室開催

８月20日から29日までの７日間、栃木市市民会館において、外国人子女のための日本語教室を開催しました。夏休みの宿題と１学期に学んだことの復習を中心に、掛け算などの計算や漢字の練習をしました。授業の合間には、折り紙やジグソーパズルなどの遊びもあって楽しく学ぶことができました。講師は、日本語指導ボランティアの半田幸子さんが務めました。